安心バンク、JAバンク。

JA HOKUSAI DISCLOSURE

2023.9 上半期ディスクロージャー誌

令和5年4月1日~令和5年9月30日











1. 組合員と地域の皆さまとともに!!



JAほくさいは地域社会の一員として、地域の皆さまとともに歩ん で行きます。

JAほくさいは、行田市、鴻巣市の一部(屈巣、広田、北根、赤城、赤城台、関新田、新井、境、上会下)、羽生市、加須市を区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助(お互いに助け合い、お互いに発展していくこと)を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

JAほくさいでは、皆さまからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉として、資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

JAほくさいは、組合員の皆さまへの奉仕はもとより、地域の皆さまに様々な事業機能やサービスを提供することにより、農業や地域経済社会の健全な発展に寄与することで社会的・公共的使命を果たしてまいります。また、JAほくさいは、地域社会の一員としての責任を自覚し、地域の各種行事や催事等への参画やJAの社会・文化的活動をとおして、少しでも地域社会の発展や活性化のお役に立ちたいと思っています。

今後とも協同組合運動の理念である「一人は万人のために、万人は一人のために」を念頭におき、より良き 地域社会人として、組合員の皆さまをはじめ地域社会の皆さまと一緒に歩んで行きたいと思っています。

トピックス



稲作体験教室で田植え

JAは6月 10 日、行田市荒木公民館前の㈱ノムラファームのほ場約 32 ₹で田植えの稲作体験教室を行い 10 家族37人が参加しました。

行田市の農業についてJA職員が説明したあと、JA職員の 指導で参加者は「彩のかがやき」の苗を手で植え付けました。

参加者は「泥だらけになったけど楽しかった稲刈りも楽しみ」 と話していました。

育苗センターで 65,000 枚の苗作り

JAほくさいの埼玉志多見育苗センターと加須育苗センターは、3月上旬から6月上旬まで、4人の担当職員と各営農経済センターなどの応援職員で育苗作業を行います。

両センターには約400人の組合員から、「コシヒカリ」、「彩のかがやき」、「彩のきずな」約6万5000枚の注文がありました。



The state of the s

少年野球大会にJAが協賛

7月29、30日と8月5日、トーナメント戦で行われる第52回北埼玉地区少年野球大会が、加須市豊野台球場と大利根本球場、加須きずなスタジアムで開かれました。

JAは、自己改革基本目標の「地域活性化」を目指して毎年同大会に協賛しています。

JA共済連埼玉県本部の地域・農業活性化積立金を活用し、JAほくさいオリジナルパックごはんの「JAのごはん」とスポーツドリンクを贈るほか、優勝と準優勝のチームにメダル計 40 個、最優秀選手賞などに盾 5 枚を寄贈しました。今年はJAの野球部から、参加したチームに敢闘賞の盾も贈りました。

今大会は、大利根ダイヤモンドが優勝しました。 おめでと うございます。

2. JA自己改革の取り組み状況について 🗽



JAほくさいの目指す姿

○安全で安心な国産農畜産物を持続的・安定的に供給できる地域農業を支え、農業者の所得増大を支えます。○総合事業を通じて地域の生活インフラ機能の一翼を担い、豊かで暮らしやすい地域社会の実現に貢献します。○「食と農を基軸として地域に根差した協同組合」として存立します。

JAほくさい自己改革工程表(数値編)

重点目標

成果指標・目標値

農業者の所得増大・農業生産の拡大

米穀フレコン出荷の拡大を通じた生産拡大

対象者:担い手経営体や中核的担い手など

令和5年度 471.870袋 ※重点施策:直接販売等の強化による農業者の所得増大

1袋あたり 5,000円

主力品目野菜の集荷体制の見直しを通じた売上増加

対象者:中核的担い手(施設園芸農業者)など

令和5年度

1kgあたり300〜400 円 ※重点施策:直接販売等の強化による農業者の所得増大

大型規格農薬の取扱拡大を通じたコスト低減

対象者:担い手経営体や中核的担い手など

令和5年度

2.110ha

10aあたり 300~500円

令和5年度 【第2四半期】

444,999袋の出荷契約を締結いたしました。 JA直売所や精米プラントでの販売を始めま した。

令和5年度 【第2四半期】

4月~9月末現在

きゅうり 1,513t 平均単価 284円 なす 197t 平均単価 355円 平均単価 トマト 1,065t 281円

令和5年度 【第2四半期】

推進品目の選定を行い、11月の推進に向け

地域の活性化

農業振興の応援団の拡大(SNSフォロワー数の増加)

令和5年度

令和5年度 【第2四半期】

FB/フォロワー数 179人 LINE/フォロワー数 1,042人

経営基盤の確立・強化

支店等再編による効率的な事業運営体制の確立

令和 5 年度

8支店・7営農経済センター

【第2四半期】 令和5年度

令和5年3月を以って支店の統廃合が完了 し、4月より各基幹支店に営農経済セン ターが設置され、支店再編が完了となりま した。再編による業務の効率化を図った事 業運営を継続し、引き続き経営基盤の強化 を図ってまいります。

対話・意思反映

項目	令和5年度計画	令和5年度 第2四半期
組合員との対話会 (回数)	7地区にて開催(7回)	組合員との対話会を12月4日~12日に7地区 で開催予定
イベントを通じた 組合員アンケートの実施 (人数)	300世帯	162世帯(稲刈り体験・ミニバス大会)

J A ほくさい 中期計画アクションプラン 進捗状況報告書 【令和 5 年度第 2 四半期】

基本 目標	主な成果指標	重点施策	アクションプラン(主な取組) 令和5年度	取組状況
	出資型法人を設立し、 農業経営(米 13ha、麦 7 ha)	J A 出資型法人によ る農作業等受託と農 業経営の実施	・モデル地区にて受託作業と農業経 営面積の拡大(米 10ha、麦 6 ha)	・【受託作業面積】 田植え・ドローン防除(2 ha) ・【農協経営面積】 小麦作付面積(8.3ha)・水稲作付面 積(10ha)
持	担い手経営体全戸訪問 と、総合事業提案、農 業支援の実施	担い手経営体との信 頼性構築	・TAC 及び営農経済渉外による担い手経営体への訪問・総合事業提案と農業経営支援の強化実践	9月末実績 1,061件 1,693回の訪問活動県域応援企画の取扱い件数 21件農業融資紹介 6件
持続可能な食料・	米穀を独自の販売30% を行い、精算金の追加 を行う。米穀の作付け 前(目標85ha)に買取 価格を提示し契約販売 の実施。	直接販売等の強化による農業者の所得増大	・JA直販米比率 25% ・契約栽培面積 80ha	・目標達成に向けて推進計画策定中 ・契約栽培面積 多収米 72ha ッ 野菜 1,444a
農業基盤の確立	准組合員との交流の場として、各種イベント等を開催し、アクティブメンバーシップを目指し、販売品の取扱い令和3年度比7%増を目指す。	農産物直売所の生産 販売の拡大	・販売品取扱増加 (令和3年度比5%増)	・全体で前年(4 — 6)同月比 98.6% 受託品は 94.2%と取扱高の減少
	担い手経営体へトータールコスト低減の取組みを提案し、担い手直送(大型)規格農薬等の利用を促し取扱い面積2,320haを目指す。	大型規格農薬の取り扱い拡大	・担い手経営体へコスト低減の提案 ・取扱面積(2,110ha)	・推進品目の選定を行い、11 月からの 推進に向けて準備中
持続可能	ほくさい管内の7地区 において、組合員との 対話会を年1回以上開 催	「組合員との対話運 動」の継続・強化	・准組合員の参加を拡充し、前年同様に組合員との対話会を実施 ・各種イベントを通じた組合員アンケートの実施・活用	・組合員との対話会を 12 月 4 日~12 日 に7 地区で開催予定 ・稲刈り体験、ミニバス大会でアンケ ート実施(162 世帯)
能な地域・組織	JA女性部未組織支店 (2支店)へ設置を促 す。 JA女性部、青年部と JA役職員との対話活 動 1回/年実施。	女性・青年の活躍推進	・JA女性部・青年部員の加入促進・JA女性部未組織地区の設立・JA役職員とJA女性組織・青年組織の対話活動の継続実施・女性組織と青年組織の対話活動の実施	・総会・会議等の席で、部員からの呼びかけを実施 ・青年部実施予定(12/22) ・女性部R6.1月に実施予定 ・実施に向け調整中
・事業基盤の確立	正組合員 30%以上 総 代 15%以上 理 事 15%以上	女性のJA運営参画 目標	正組合員 30%以上 総 代 15%以上 理 事 15%以上	・10 月末での総代の任期満了に向けて 手続きを開始しました。目標として いる 15%以上の女性総代が選出され るよう進めてまいります。
確立	・多様な生産組織等と 連携し、子ども食堂や フードバンクへ食材の 提供を 1 回/年以上行 う。	地域の将来を担う子 どもたちの健全な育 成と地域の多様な組 織との連携強化	・子ども食堂、フードバンクへの食 材提供の継続実施	・梨を寄贈(8 — 9 月) ・10 月以降に精米 (1 t) 寄贈調整中



基本目標	主な成果指標	重点施策	アクションプラン(主な取組)	取組状況
「食」「農」	農業振興の応援団として、SNSフォロワー数 400人	広報機能を強化し、 JA情報の発信	・ホームページの更新頻度の増加 ・S N S (Facebook/LINE) による情報 発信	・HP/更新 42 回 ・FB/更新 49 回 ・LINE/更新 4 回
地域住民理解の醸成農」「地域」「JA」!	准組合員とのメンバーシップ強化のため、伝 承料理教室、稲作体験 教室、収穫体験バスツ アーの開催を1回/年 開催する。	准組合員の「農」に 基づくメンバーシッ プの強化	・伝承料理教室の開催 ・稲作体験教室の開催 1 回(行田地 区) ・収穫体験ツアーの開催	・伝承料理教室開催(7/29) ・稲刈り体験開催予定(10/7) ・ドライブラリーを開催(トウモロコシ・ブルーベリー)(7/23)
成にかかる	次世代対策として、野球大会、ミニバス大会、その他スポーツ大会(1大会)を支援します。	地域で子供のスポー ツイベントの支援	・北埼玉地区野球大会及びミニバス 大会への支援及びPRの実施・小学生スポーツ支援及びPRの実施(1大会)	・北埼玉地区野球大会(7/29) ミニバス大会(9/18)への支援 ・サッカー・バレーボール大会支援(12 月)に向け準備中
不断の自己改革の実践	支店・農機センターの 統合により、3年度対比 1.3%減) 遊休資産の売却を基本 の売資産税R3 にし、 (R3 (関す) がより、 がより、 がより、 がより、 がより、 がより、 がより、 がより、	支店の統合 29 支店→8 支店・ 7 営農経済センター	・行田の では、 ・行田の では、 ・行田の では、 ・行田の では、 ・行田の では、 ・行田の では、 ・行田の では、 ・では、	・令和5年度3月を以って支店の統廃 合が完了し、4月より各基幹支店に 営農経済センターが設置され、支店 再編が完了となりました。再編によ る業務の効率化を図った事業運営を 継続し、引き続き経営基盤の強化を 図ってまいります。
	平反对比 3 70成)	農機センターの統合 7 農機センター → 1 農機センター	・運営体制の検討 ・統合の準備 ※地域の状況を勘案し、出張所の設 置を検討	・令和6年度の統合に向け、新施設の 建設・運営体制等について、引続き 検討してまいります。
経営		農業倉庫の再編	・再編計画案の検討	・再編計画案を検討しております。
を支える経営基盤の強化		遊休資産の流動化	・遊休資産の流動化の実施	・騎西地区の旧下崎倉庫跡地の売却が 完了。引続き売却等により処分を進 めてまいります。
化	役員の定数を減らすこ とにより機動的な経営 上の意思決定を行い、 また新たな支店運営協 力委員会を設置するこ	役員定数の変更	・令和5年改選期より、役員定数の 削減 理事 38人→25人 監事8人 →6人	・今年度の改選により、所期の目標を 達成いたしました。
	とにより組合員からの 様々な意見を集約し、 組合の事業運営に反映 させる	新たな支店運営協力 委員会の設置	・新たな支店運営協力委員会の設置	・新たな支店運営協力委員会の在り方 について、引続き協議・検討してま いります。

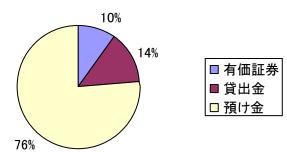
3. 安心のバロメーター



JAほくさいは、組合員の皆さまや地域の皆さまより信頼をいた だき、お預かりしている貯金は 2,919 億円になりました。この大切 な財産を、安全性と流動性を重視して資金運用しています。

(単位:百万円) R5年9月期の JA ほくさいの運用資産構成

	R4年9月期	R5年3月期	R5年9月期
貯 金	291,737	290,056	291,976
貸出金	37,267	38,220	40,281
預け金	234,986	224,845	222,009
有価証券	20,228	24,864	28,405



1 売買目的有価証券

当JAは、令和5年3月期及び令和5年9月期における売買目的有価証券の残高はありません。

2 満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位:百万円)

	R5年3月期		R5年9月期			
	貸借対照表計 上額	時 価	差額	貸借対照表計 上額	時 価	差額
時価が貸借対照表計上額 を 超 え る も の	8,820	8,892	72	3,099	3,113	13
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	6,814	6,338	△475	14,032	13,007	△1,024
合 計	15,635	15,231	△403	17,132	16,121	Δ1,010

注1:時価は、9月末、期末における市場価格等に基づいております。

3 その他有価証券

(単位:百万円)

	R5年3月期			R5年9月期		
	取得原価または 償 却 原 価	貸借対照表計 上額	差額	取得原価または 償 却 原 価	貸借対照表計 上額	差額
貸借対照表計上額が取得原価または償却原価を超えるもの	1,304	1,322	18	1,300	1,304	4
貸借対照表計上額が取得原価 または償却原価を超えないもの	8,465	7,906	△559	10,938	9,968	△969
合 計	9,770	9,229	△540	12,238	11,273	△964

注1:貸借対照表計上額は、9月末、期末における市場価格等に基づいております。

4 金銭の信託

当JAは、運用目的・満期保有目的・その他の金銭の信託にかかる契約はありません。



金融機関の経営健全性を示すバロメーター

…自己資本比率も充分です。

J A ほくさいは、国内基準(4%)の4倍以上で、国際基準(8%)を上回る18.72%の自己資本比率と、54億円の内部留保(特別積立金)で、安定した経営を維持しています。 (単位:百万円、%)

R5年9月期の自己資本の状況

自己資本の額 22,025 百万円 18.72 %

	R5年3月期	R5年9月期
自己資本の額	21,816	22,025
自己資本比率	18.89%	18.72%
余 裕 額	12,577	12,614

R5年9月期の計数は、仮決算結果に基づき、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」(H18.3.28金融庁・農林水産省告示第2号)に準拠して算出していますが、半期利益については、前年度実績の2分の1の外部流出予定額を控除して自己資本の額とし、オペレーショナルリスク相当額はR5年3月期の計数を用いて算出しています。

余裕額は自己資本額の内、国際基準(8%)を上回る部分の金額となります。

安心 (その3)

不良債権に対する備えも充分です。

JAほくさいは、経営の透明性を高め、その健全性と安全性をご理解いただくために、金融再生法に基づく開示債権の状況を開示するとともに、不良債権に対する保全状況を開示いたします。

(単位:百万円、%)

債 権 区 分 と 保 全 状 況	R5年3月期	R5年9月期
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	18	9
危 険 債 権	96	122
要 管 理 債 権	-	-
小 計(A)	114	132
保 上記債権の担保・保証の額(B)	78	107
保 上記債権の担保・保証の額(B) 全 大 上記債権に対する貸倒引当金の額(C) 況 上記債権に対する保全率(B+C)/(A)	8	3
況 上記債権に対する保全率(B+C)/(A)	75.4%	83.3%
正 常 債 権	38,471	40,752
合 計	38,585	40,884

注)R5年9月期の計数は、9月末の仮決算において3月期決算と同一に当JAの資産査定要領により実施した自己査定結果、並びに 資産の償却・引当基準に基づき計上したものです。なお、貸借対照表に計上している貸出金とは対象となる範囲が異なるため、残高 が一致しない場合があります。

【用語の説明】

- ●破産更正債権及びこれらに準ずる債権・・・・破産・会社更生・民事再生等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に 対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- ●危険債権・・・・債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- ●要管理債権····(1)3ヶ月以上延滞債権=元金または利息の支払が、約定支払日の翌日を起算日として3ヶ月以上延滞している貸出金のうち、破産更正債権等及び危険債権を除いた貸出債権です。
 - (2) 貸出条件緩和債権=経済的困難に陥った債務者又は支援を図り、当該債権の回収を促進すること等を目的に、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定等を行った貸出債権のうち、破産更正債権等、危険債権及び3ヶ月以上延滞債権を除いた貸出債権です。

JAほくさいは、組合員の皆さまや地域のお客さまの着実な資産づくりのお手伝いをさせて頂いています。

組合員の皆さま・地域のお客さま うち組合員数: 24,203 人

※JAにおける「組合員」とは? 地区内にお住まいや勤務の方は組合員になる資格があります。また、組合員以外のお客さまへも一定の範囲内でJAのサービスをご利用頂けますので、お気軽にお声掛けください。

地域からの資金調達の状況

当JAでは、お客さまのニーズにお応えするため、SDGs 定期貯金や、子育てをしている 方を対象とした優遇定期貯金 など、特徴ある商品をご用意し ていますが、今後も新商品の開 発やサービスの一層の充実に 向けて努力してまいります。

貯金·積金残高

291.976 百万円

文化的・社会的貢献に関する事項 (地域との繋がり)

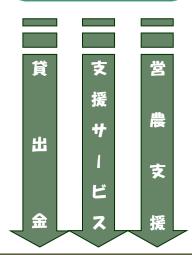
- (1)「地域との共生」を基本理 念に小さな活動からを合言 葉に、福祉、スポーツや地域 活動等の活動を通じて文化 的・社会的貢献活動を展開し ています。
- (2) 利用者ネットワークとして、各種友の会や部会を設置し、さまざまな活動を展開しています。
- (3) ほくさいだより等の広報誌 やホームページを通じて情 報提供やご意見を承ってい ますのでご利用ください。

https://jahokusai.jp

出資金	3,093 百万円
貯金·積金	291, 976 百万円

JAほくさい

常勤役職員	342名
本店	1
支店	8
営農経済センター	7
A T M設置台数	16
事業所	19



地域への資金供給の状況(貸出金に関する事項)

お客さまからお預かりした大切な貯金・積金を、資金を必要とされている組合員、地域にお住まいの方や事業者の方々へ資金を適正に供給し、農業や地域経済の活性化に寄与しています。

貸出金残高

40, 281 百万円

249 百万円

組 合 員 33,998 百万円 地 公 体 等 6,086 百万円 そ の 他 196 百万円

- *制度融資の実績
- 農業近代化資金 *農業支援融資商品 営農ローン
- JA農機ハウスローン etc. *個人向けローン、事業者向け 融資についても各種ご用意して います。

貸出金以外の運用に関する事項

安全性と流動性を重視した安定収益のため、JA県信連預金や国債等の有価証券で運用しています。

JA県信連等預金残高	222,009 百万円
有 価 証 券 残 高	28, 405 百万円

組合員の皆さま・地域のお客さま

※計数は、令和5年9月末現在です。なお、記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。
※職員数は、パート、アルバイト及び被出向の職員を除き、出向者、休職者及び常勤嘱託を含めた人数を記載しています。

※記載内容、商品についてご質問がございましたら、お気軽にお声掛けください。

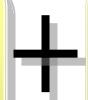
JAバンク・セーフティーネット



JAバンクは、「破綻未然防止システム」と「貯金保険制度」により「JAバンク・セーフティーネット」を構築し、組合員・利用者の皆さまに、より一層の「安心」をお届けしています。

破綻未然防止システム

破綻未然防止のための JAバンク独自の制度



貯金保険制度

貯金者の保護のための 公的な制度

JAほくさい

身近で便利JAの店舗

店舗名	電話番号	店舗名	電話番号
本店	0 4 8 - 5 6 1 - 6 9 1 1		
行 田 中 央 支 店	0 4 8 - 5 5 6 - 1 1 7 1	行田営農経済センター	0 4 8 - 5 5 6 - 1 1 7 2
行 田 中 部 支 店	0 4 8 - 5 5 6 - 2 2 3 5		
川里中央支店	0 4 8 - 5 6 9 - 1 3 2 1	川里営農経済センター	0 4 8 - 5 6 9 - 0 0 0 3
羽生中央支店	0 4 8 - 5 6 1 - 1 0 0 9	羽生営農経済センター	0 4 8 - 5 6 3 - 1 5 7 1
加須中央支店	0 4 8 0 - 6 1 - 0 9 0 5	加須営農経済センター	0 4 8 0 - 6 1 - 0 9 0 6
騎西中央支店	0 4 8 0 - 7 3 - 1 1 2 1	騎西営農経済センター	0 4 8 0 - 7 3 - 1 1 2 2
北 川 辺 支 店	0280-62-2011	北川辺営農経済センター	0 2 8 0 - 6 2 - 2 2 1 1
大 利 根 中 央 支 店	0 4 8 0 - 7 2 - 3 1 1 1	大利根営農経済センター	0 4 8 0 - 5 3 - 9 2 3 0



組合員・利用者の皆さまに、より一層の「便利」と「安心」をお届けするための農協金融システムが「JAバンクシステム」です。

このシステムに一体的に取組むJAバンク(JA・信連・農林中金)の金融店舗には、「JAバンク会員マーク」が掲示されております。

JAIT<TU TERMETS MAINER



T348-0052 羽生市東7-15-3 TEL.048-563-4609

北川辺 農産物直売所

T349-1205 加須市向古河281-2 TEL.0280-62-3636



T361-0021 行田市富士見町1-8-1 TEL.048-556-2203

騎西

T347-0105 加須市騎西425

TEL.0480-73-6776

T347-0018 加須市浜町4-37

TEL.0480-61-3044

JAほくさいの "リアルタイム"を お届けします。 直売所、地域の農業風景、 各種キャンペーン、イベント情報 など

Facebook









2023 上半期 DISCLOSURE 令和 5 年 11 月製作 JAほくさい(ほくさい農業協同組合) 企画管理部 〒348-8513 羽生市東7丁目15番地3

Tel048-561-6911(代表)

Fax048-561-4530

【ホームページ】https://jahokusai.jp



MEMO

